



**Hewlett Packard**  
Enterprise

# HPE Helion CloudSystem 10.0 リ リースノート

## 摘要

この情報は、コンピュートリソースを展開に向けて構成およびプロビジョニングし、仮想データセンターで使用する  
ことを担当する、**HPE Helion CloudSystem ソフトウェア 10.0** を使用する管理者を対象にしています。

部品番号: 5200-0246  
2016 年 9 月  
第 1 版

© Copyright 2014–2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

#### **商標**

Microsoft®および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。

VMware® は、VMware, Inc.の米国および各国での登録商標です。

# 目次

1 HPE Helion CloudSystem 10.0.....	4
サポートマトリックスと前提条件.....	4
セキュリティ.....	4
機能.....	5
Helion CloudSystem 10.0 での新機能.....	5
Helion CloudSystem 10.0 U1 のダウンロードとインストール.....	5
HPE CSA コンテンツパックおよびコンテンツカプセルのダウンロード.....	5
エンドユーザー使用許諾契約書、オープンソースおよびサードパーティーの使用許諾契約書.....	5
関連情報.....	6
2 問題と推奨処置.....	7
インストールおよびアプライアンスの管理.....	7
パーティション非分割モードでは Emulex ベースの NIC を使用する.....	7
コンピュータホストの構成およびアクティブ化.....	7
コンピュータホスト上で QLogic FCoE 5.0 アダプターをサポート.....	7
Nic_mappings.xml ファイルの修正後、RHEL KVM コンピュータホストのアクティブ化に失敗する.....	7
OpenStack ユーザーポータル.....	8
OpenStack ユーザーポータルの中でフレーバーおよびイメージのメタデータを削除できない.....	8
監視およびログ機能.....	8
Helion CloudSystem Attis および ACE サービスが監視されない.....	8
Enterprise (Cloud Service Automation および Operations Orchestration).....	8
プロジェクト名と組織名が一致しないと、シーケンス設計サブスクリプションが失敗する.....	8
シーケンス設計にボリュームタイプの選択肢が含まれていない.....	8
OpenStack プロバイダーを使用して終了サブスクリプションをキャンセルできない.....	8
OpenStack プロバイダーを使用して、サブスクリプションを変更できない.....	9
Amazon EC2 または Matrix Operating Environment プロバイダーを使用して、サブスクリプションを変更できない.....	9
Helion 開発プラットフォームプロバイダーが含まれているが、サポートされていない.....	9
A サポートと他のリソース.....	10
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	10
ソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービス.....	10
ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録.....	10
ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法.....	10
コンサルティングとインストールサービス.....	10
クラウド向け HPE データセンターケア.....	11
マネジメントセキュリティ.....	11
ディスカッションへの参加.....	11
アップデートへのアクセス.....	11
Web サイト.....	12
参考ドキュメント.....	12
HPE Helion CloudSystem のドキュメント.....	12
HPE Helion OpenStack のドキュメント.....	13
HPE Insight Management ドキュメント.....	13
サードパーティーのドキュメント.....	13
HPE 3PAR StoreServ のドキュメント.....	14
HPE VSA StoreVirtual のドキュメント.....	14
HPE ProLiant サーバーのドキュメント.....	14
カスタマーセルフリペア.....	14
リモートサポート (HPE 通報サービス).....	14
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	14

# 1 HPE Helion CloudSystem 10.0

HPE Helion CloudSystem は、エンタープライズプライベートクラウドを HPE Converged Infrastructure 環境で実現します。

- **HPE Helion CloudSystem Foundation** は、OpenStack Cloud Software の Helion OpenStack Liberty ディストリビューションに基づいています。これはハードウェアとソフトウェアを統合して、中核的な IaaS (Infrastructure as a Service) プロビジョニングと、コンピュータ、ネットワーク、およびストレージリソースのライフサイクル管理を提供します。Helion CloudSystem の操作は、オペレーションコンソールと CLI から行います。クラウドアプリケーションの開発、展開、およびスケーリングには、OpenStack ユーザーポータルと、OpenStack API および CLI を使用します。

**HPE Helion Stackato** (元 Helion Development Platform) は、パブリッククラウドとプライベートクラウドを組み合わせた環境で、開発者がクラウドアプリケーションを迅速に開発、展開、スケーリングできるようにするアプリケーションプラットフォームまたは Platform as a Service (PaaS) です。Stackato は、幅広く成長する一連のプログラミング言語とテクノロジーをサポートしています。

**HPE Helion Stackato** を参照してください。

- **Helion CloudSystem Enterprise** は、サーバー、ストレージ、ネットワーク、セキュリティ、および管理を統合する **Cloud Service Automation (CSA)** の機能を追加して、ハイブリッドサービスデリバリのライフサイクルを自動化します。アプリケーション設計者は、Helion CloudSystem Enterprise を使用してアプリケーションおよびインフラストラクチャテンプレートを作成して、サービスカタログに製品として公開できます。ユーザーは製品をカタログから選択して、新しいサービスインスタンスのプロビジョニング、あるいはサブスクリプションをリクエストします。サービスがリクエストされると、Helion CloudSystem Enterprise は自動的にサーバー、ストレージ、およびネットワークをサブスクリプションにプロビジョニングします。

Helion CloudSystem Enterprise には、**HPE Operations Orchestration (OO)** 埋込型バージョンが含まれ、HPE CSA を体系化したものをバックアップして、コンテンツと自動化をプロビジョニング、およびサブスクリプションを管理します。OO は、管理権限や実行予約プロセスを自動化することにも使用できます。

## サポートマトリックスと前提条件

『HPE Helion CloudSystem 10.0 サポートマトリックス』には、次の情報が含まれます。

- ソフトウェアを含む Helion CloudSystem および選択可能なソフトウェアに組み込まれた管理ハイパーバイザーと計算ホストのソフトウェア要件
- 管理ハイパーバイザーのハードウェア要件
- 仮想アプライアンスのリソース要件
- Helion CloudSystem Foundation および Helion CloudSystem Enterprise のスケールに関する情報

このドキュメントは、**Enterprise Information Library** または [http://www.hp.com/jp/proliantessentials\\_manual](http://www.hp.com/jp/proliantessentials_manual) から入手できます。

## セキュリティ

予防的なセキュリティ脆弱性管理は、Helion CloudSystem および基礎となるインフラストラクチャの管理の重要な側面です。

- Helion CloudSystem Foundation および Helion CloudSystem Enterprise に固有のセキュリティ報告については、**Helion CloudSystem のアドバイザリ、技術情報 & 通知** サイトを確認してください。セキュリティ報告では、セキュリティ脆弱性に関する情報を提供し、パッチまたは修正手順を利用できるかどうかをお知らせします。

- 新しいアドバイザー、報告、および通知についての電子メール通知サービスに登録するには、**HPE サポートセンター** をご利用ください。

Helion CloudSystem に固有の通知については、**Get Connected with updates** サイトにアクセスして、製品の検索フィールドに「Helion CloudSystem」と入力します。CTRL キーを押したまま、Helion CloudSystem Foundation と Helion CloudSystem Enterprise を選択し、[Add selected products]、[Subscribe] の順にクリックします。

## 機能

Helion CloudSystem の機能に関する情報は、『HPE Helion CloudSystem 10.0 管理者ガイド』に掲載されています。

このドキュメントは、**Enterprise Information Library** または [http://www.hp.com/jp/proliantessentials\\_manual](http://www.hp.com/jp/proliantessentials_manual) から入手できます。

## Helion CloudSystem 10.0 での新機能

- Liberty OpenStack をリリースする HPE Helion OpenStack 3.0 の更新および統合サポート
- VMware ESXi、Red Hat KVM および Microsoft HYPER-V コンピュートハイパーバイザーの既存サポートを束ねる、HPE Linux KVM ハイパーバイザーコンピュートの新規サポート
- ベアメタルサーバー上への Red Hat KVM および HPE Linux KVM のプロビジョニングサポート
- Helion CloudSystem Enterprise-only 設定を起動させる機能を含む、インストールおよびライフサイクル管理手順の改良
- 高可用性管理プレーン構成の機能強化
- 多層アーキテクチャインフラストラクチャおよびアプリケーションサービスなどの高度なクラウド機能
- サポートの強化およびネットワークとストレージ（Ceph を含む）の拡張構成
- Helion CloudSystem Enterprise 経由での HPE Matrix Operating Environment の継続的サポート
- Helion CloudSystem Enterprise の HPE Cloud Service Automation 4.60 および HPE Operations Orchestration 10.51 コンポーネントに対するアップデート

## Helion CloudSystem 10.0 U1 のダウンロードとインストール

HPE Helion CloudSystem 10.0 は、**HPE Software Depot** よりダウンロードいただけます。

## HPE CSA コンテンツパックおよびコンテンツカプセルのダウンロード

最新の HPE CSA コンテンツパックおよびコンテンツカプセルについては、**HPE Live Network** を確認してください。Helion CloudSystem10.0 では、HPE CSA 4.6 と互換性があるコンテンツがサポートされます。

HPE CSA コンテンツについては、『HPE Cloud Service Automation Content Pack ユーザーガイド』を参照してください。このドキュメントは、**Enterprise Information Library** から入手できます。

## エンドユーザー使用許諾契約書、オープンソースおよびサードパーティーの使用許諾契約書

サポート者、第三者、およびオープンソースソフトウェアコンポーネントに関連する Helion CloudSystem、および追加ライセンス認証（ALA）のエンドユーザー使用許諾契約（EULA）

は、HPE の Web サイト <http://www8.hp.com/us/en/campaigns/prodserv/software-licensing.html> で提供しております。

Helion CloudSystem のオープンソースおよびサードパーティー使用許諾契約書は、HP の Web サイト [docs.hpcloud.com/#cloudsystem/licensing.html](https://docs.hpcloud.com/#cloudsystem/licensing.html) で提供しております。

## 関連情報

CloudSystem ドキュメントの完全なリストについては、[参考ドキュメント \(12 ページ\)](#) を参照してください。

## 2 問題と推奨処置

この章では、これらのリリースの問題と制限事項を Helion CloudSystem の機能別に記載します。

**注記:** トラブルシューティングに関する詳細は、『HPE Helion CloudSystem 10.0 トラブルシューティングガイド』を参照してください。

Helion CloudSystem Enterprise の使用中に発生する可能性がある問題については、『HPE Cloud Service Automation Release Notes (4.6)』を参照してください。

これらのドキュメントは、**Enterprise Information Library** から入手できます。

### インストールおよびアプライアンスの管理

#### パーティション非分割モードでは Emulex ベースの NIC を使用する

ファームウェアの問題により、UMC モードは VxLAN 環境では機能しません。このため、Emulex ベース NIC のサポート構成は、非分割パーティションモードです。問題解決のためのファームウェアアップデートがリリースされる場合、サポートは非ボンディングセットアップのみに限定されます。これは、Emulex および QLogic ベースの NIC 両者に適用され、ボンディングはパーティション済み、または UMC ベース構成ではサポートされていません。

##### 操作

この問題を修正するには、のちの HPE サーバー向けファームウェアアップデートをインストールします。

### コンピュータホストの構成およびアクティブ化

#### コンピュータホスト上で QLogic FCoE 5.0 アダプターをサポート

Helion CloudSystem 10.0 は、ESXi コンピュートクラスター上で、以下の QLogic ベース FCoE アダプターをサポートしています。

Helion CloudSystem 10.0 は、Red Hat KVM、HPE Linux、および HYPER-V コンピュートホスト上で、FCoE アダプターをサポートしていません。

- HP StoreFabric SN1000Q 16Gb 1-port PCIe ファイバーチャネル HBA
- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 536FLB アダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2 ポート 630FLB アダプター

Red Hat KVM、HPE Linux、および Hyper-V コンピュートホスト上の QLogic アダプターに関する先行サポートは、将来リリース予定です。

#### Nic\_mappings.xml ファイルの修正後、RHEL KVM コンピュートホストのアクティブ化に失敗する

Nic\_mappings.yml ファイルが正しく設定されていない場合、RHEL KVM コンピュートのアクティブ化は成功しません。ファイルを修正後、アクティベーションプロセスはファイルをアップデートしないので、アクティブ化が成功しないのです。

##### 操作

コンピュータホストを削除して再プロビジョニングしてから、アクティブ化をリトライしてください。この問題を避けるため、初めてコンピュータホストをアクティブ化する前に、nic\_mappings.yml ファイルが正しいことを確認してください。

## OpenStack ユーザーポータル

### OpenStack ユーザーポータルの中でフレーバーおよびイメージのメタデータを削除できない

OpenStack ユーザーポータルを使用して、フレーバーおよびイメージのメタデータは削除することはできません。

#### 操作

Glance CLI を使用して、メタデータのフレーバーとイメージを削除します。この問題は、今後の Helion OpenStack リリースで修正される予定です。

## 監視およびログ機能

### Helion CloudSystem Attis および ACE サービスが監視されない

このリリースでは、Attis および ACE サービスは監視されません。Attis サービスは、バックアップと復元のために使用され、ACE サービスは、HPE OneView 管理対象サーバーの ESXi クラスタプロビジョニングに使用されます。

#### 操作

これらのステータスおよびその他の Helion CloudSystem サービスのステータスを表示するには、デプロイや端末より `csoperate service status control-plane` コマンドを使用してください。

## Enterprise (Cloud Service Automation および Operations Orchestration)

### プロジェクト名と組織名が一致しないと、シーケンス設計サブスクリプションが失敗する

Out of the Box (OOB) シーケンス設計に基づくサブスクリプションは、プロジェクト名や組織名が一致しない場合（ケースを含む）には失敗します。

エラーは、[Get Context Based Auth Token] の Operations Orchestration で表示されます。

#### 操作

**HPE Live Network** から、アップデート 16.09 コンテンツパックをインストールしてください。

### シーケンス設計にボリュームタイプの選択肢が含まれていない

Out of the Box (OOB) シーケンス設計である OpenStack— マルチテナントサポートには、ボリュームタイプの選択は含まれていません。複数のコンピュータホストがあって、ボリュームタイプを選択することはできず、ボリュームは、インスタンスよりも異なるコンピュータホストに添付されていることがあります。そのような場合、サブスクリプションは失敗します。

#### 操作

2016 年 9 月 9 日にリリースされるアップデート 16.09 コンテンツパックをインストールしてください。このコンテンツパックは、**HPE Live Network** より、利用することができます。

### OpenStack プロバイダーを使用して終了サブスクリプションをキャンセルできない

サブスクリプションが終了した状態になった場合、OpenStack プロバイダーを使用してキャンセルすることはできません。

#### 操作

この問題を修正する今後のコンテンツパックをインストールしてください。このコンテンツパックは、**HPE Live Network** より、利用することができます。



## OpenStack プロバイダーを使用して、サブスクリプションを変更できない

今回の Helion CloudSystem リリースに含まれている OpenStack プロバイダーでは、変更サブスクリプションはサポートされていません。

OpenStack コンピュートデプロイジョブには、[完了に失敗しました] が、例外 [Unsatisfied required input : privateNetwork In step: OpenStack Create Server] とともに表示されます。

### 操作

- パブリックアクションクリエイトサーバーまたはサーバーアクションの削除、または <https://hpln.hpe.com/group/cloud-service-automation-csa> を使用してください。
- この問題を修正する今後のコンテンツパックをインストールしてください。このコンテンツパックは、**HPE Live Network** より、利用することができます。

## Amazon EC2 または Matrix Operating Environment プロバイダーを使用して、サブスクリプションを変更できない

今回の Helion CloudSystem リリースに含まれている Amazon EC2 または Matrix Operating Environment provider では、変更サブスクリプションアクションはサポートされていません。

### 操作

- パブリックアクションクリエイトサーバーまたはサーバーアクションの削除、または <https://hpln.hpe.com/group/cloud-service-automation-csa> を使用してください。
- **HPE Live Network** から、利用可能な 16.0 もしくはそれ以上の EC2 および MOE コンテンツパックをアップデートしてください。

## Helion 開発プラットフォームプロバイダーが含まれているが、サポートされていない

HPE CSA 4.6 には、「Helion 開発プラットフォーム」と名づけられたプロバイダータイプが含まれています。このプロバイダータイプは、Helion OpenStack3.0.2 ではサポートされず、Helion CloudSystem10.0 に含まれています。

### 操作

HPE CSA 管理コンソールでは、HDP プロバイダータイプを無視してください。

# A サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスを受けるには、Web サイト「Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide」に移動します。  
<http://www.hpe.com/assistance>
- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトに移動します。  
<http://www.hpe.com/support/hpesc>

### ご用意いただく情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- 増設した製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

## ソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービス

購入された Helion CloudSystem 製品には、24 時間 365 日の HPE ソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービスが 1 年分含まれており、HPE Overview 付き、またはコンバードシステムでオーダーされた Helion CloudSystem 製品には、24 時間 365 日のソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービスが 3 年分含まれています。このサービスは、ソフトウェアの実行の解決またはオペレーション問題をアシストするために HPE テクニカル リソースへのアクセスを提供します。

このサービスでは、さらにソフトウェアアップデートおよびリファレンスマニュアルへのアクセスを提供しており、HPE より、電子ファイル、または物理的メディアとして入手することが可能です。電子ライセンスの使用権を購入した場合、電子アップデートのみ、利用できます。

このサービスで、Helion CloudSystem のお客様は、ソフトウェアアップデートの通知と入手だけでなく、効率の良い問題解決サービスも受けることができます。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/services/insight-ja>

## ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録

『License Entitlement Certificate』を受領した場合、オンラインでのライセンス証明書/キーの発行手続きの際に、このサービスに登録されます。

## ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法

登録後、サービスの窓口の電話番号と SAID（Service Agreement Identifier）を含むサービス契約書がメールで送付されます。テクニカルサポートに連絡する場合は、SAID が必要です。SAID を使用して、HPE サポートセンターで、[www.hpe.com/support/hpesc](http://www.hpe.com/support/hpesc) オンラインでの契約内容の確認が可能です。

## コンサルティングとインストールサービス

HPE Helion CloudSystem インフラストラクチャを正しくデプロイメントおよび操作していただくために、HPE はさまざまな種類のコンサルティングサービス、インストールサービスおよ

びサポートサービスを提供しています。詳細については、<https://www.hpe.com/us/en/services/consulting/cloud.html> を参照してください。

## クラウド向け HPE データセンターケア

HPE Helion プロフェッショナルサービスサポートフォリオの一部として、HPE Datacenter Care for HPE Cloud は、Helion CloudSystem ハードウェアおよびソフトウェアのオペレーティング環境をサポートする柔軟な関係性を提供します。詳細については、<http://www.hpe.com/services/dccloud> を参照してください。

## マネジメントセキュリティ

HPE は、そのすべての管理ソフトウェアの品質とセキュリティへのアプローチにおいてプロアクティブです。[www.hpe.com/support/e-updates-ja](http://www.hpe.com/support/e-updates-ja) で、ダウンロード可能な最新版セキュリティアップデートにサインアップしてください。

## ディスカッションへの参加

HPE サポートセンター、[www.hpe.com/support/hpesc](http://www.hpe.com/support/hpesc) は、HPE お客様向けコミュニティベースのユーザーサポートフォーラムで、HPE 製品に関するカスタマーコミュニティ間でディスカッションに参加できます。

## アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。製品のドキュメントを確認し、推奨されるソフトウェアアップデートの方法を特定します。
  - 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかに移動します。
    - Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[メールニュース配信登録]** ページ：  
<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>
    - Software Depot の Web サイト：  
<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>
    - ソフトウェアおよびドライバーダウンロードページ  
HPE サポートセンターは、お客様の HPE Helion CloudSystem 製品の最新版ソフトウェアおよびドライバーを提供しています。追加コンテンツは、Helion CloudSystem Enterprise ご利用のお客様に、HPE Live Network 経由 <https://hpln.hpe.com> で提供されています。
    - ProLiant リリース用の Support Pack：  
最新版 SPP は、<http://www.hpe.com/info/spp/download> で入手できます。リリースが利用可能となった場合に事前通知を受信するには、[www.hpe.com/support/e-updates](http://www.hpe.com/support/e-updates) でサインアップしてください。
  - お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[More Information on Access to Support Materials]** ページに移動します。  
<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>
- ① **重要：**一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

## Web サイト

Web サイト	リンク
Hewlett Packard Enterprise Information Library	<a href="http://www.hpe.com/info/enterprise/docs">http://www.hpe.com/info/enterprise/docs</a>
Hewlett Packard Enterprise サポートセンター	<a href="http://www.hpe.com/support/hpesc">http://www.hpe.com/support/hpesc</a>
Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide	<a href="http://www.hpe.com/assistance">http://www.hpe.com/assistance</a>
サブスクリプションサービス/サポートのアラート	<a href="http://www.hpe.com/support/e-updates-ja">http://www.hpe.com/support/e-updates-ja</a>
Software Depot	<a href="http://www.hpe.com/support/softwaredepot">http://www.hpe.com/support/softwaredepot</a>
HPE Live Network	<a href="https://hpln.hpe.com">https://hpln.hpe.com</a>
カスタマーセルフリペア	<a href="http://www.hpe.com/support/selfrepair">http://www.hpe.com/support/selfrepair</a>
Insight Remote Support	<a href="http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs">http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs</a>
Serviceguard Solutions for HP-UX	<a href="http://www.hpe.com/info/hpux-serviceguard-docs">http://www.hpe.com/info/hpux-serviceguard-docs</a>
Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) のストレージ互換性マトリックス	<a href="http://www.hpe.com/storage/spock">http://www.hpe.com/storage/spock</a>
ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート	<a href="http://www.hpe.com/storage/whitepapers">http://www.hpe.com/storage/whitepapers</a>
Hewlett Packard Enterprise 公認製品販売店を検索して、	米国内の場合は、「U.S. HP partner and store locator」の Web サイトを参照してください。 <a href="http://www.hpe.com/support/service_locator">http://www.hpe.com/support/service_locator</a> 他の地域では、「Contact Hewlett Packard Enterprise」の Web サイトを参照してください。 <a href="http://www.hpe.com/contact">www.hpe.com/contact</a>
クラウド向け HPE データセンターケア	<a href="http://www.hpe.com/services/dccloud">http://www.hpe.com/services/dccloud</a>

## 参考ドキュメント

HPE CSA and Operations Orchestration (OO) を含む Helion CloudSystem のマニュアルとホワイトペーパーの最新バージョンは、『Enterprise Information Library』（<http://www.hpe.com/info/CloudSystem/docs>）からダウンロードできます。

## HPE Helion CloudSystem のドキュメント

### ドキュメント

- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 管理者ガイド』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 コマンドラインインターフェースガイド』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 ESXi インストールガイド』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 KVM インストールガイド』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 ネットワークプランニングガイド』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 リリースノート』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 サポートマトリックス』
- 『HPE Helion CloudSystem 10.0 トラブルシューティングガイド』

Helion CloudSystem オペレーションコンソールのオンラインヘルプは、オペレーションコンソールのユーザーインターフェイスのヘルプ制御ボタン（クエスチョンマーク記号）をクリックすると利用できます。

## HPE Helion OpenStack のドキュメント

以下の製品に関する情報を含む、Helion OpenStack 情報の最新版は、『HPE Helion Documentation』（<http://docs.hpcloud.com>）で参照できます。

- HPE Helion OpenStack
- HPE Helion Eucalyptus

## HPE Insight Management ドキュメント

HPE Matrix Operating Environment のマニュアル、ホワイトペーパー、および『HPE Insight Management サポートマトリックス』の最新版は、以下のドキュメントなども含め、『Enterprise Information Library』（<http://www.hp.com/go/matrixoe/docs>）からダウンロードできます。

- 『HPE Matrix Operating Environment リリースノート』
- 『HPE Insight Management サポートマトリックス』
- 『HPE Matrix Operating Environment インフラストラクチャオーケストレーションユーザーガイド』
- 『HPE CloudSystem Matrix インフラストラクチャオーケストレーションを使用したクラウドバースティング』

## サードパーティのドキュメント

### OpenStack

- **Liberty リリース用の OpenStack ドキュメント**  
例外事項（インストール情報など）がほとんどないため、OpenStack ドキュメントは、OpenStack ドキュメント Web サイトに最新のリリースストリームを表示するように常に設定されます。
  - 『Cloud Administrator Guide』
  - 『Virtual Machine Image Guide』
  - 『API Quick Start』
  - 『Admin User Guide』
  - 『End User Guide』
  - コマンドリファレンス
    - Keystone コマンド
    - Glance コマンド
    - Neutron コマンド
    - Nova コマンド
    - Cinder コマンド

### VMware

- **VMware vSphere のドキュメント**

### Microsoft

- **Microsoft Windows Server のドキュメント**
- **Microsoft Hyper-V のドキュメント**

### Red Hat

- **Red Hat Enterprise Linux 7 のドキュメント**

## HPE 3PAR StoreServ のドキュメント

最新バージョンの 3PAR StoreServ Storage マニュアルは、**Enterprise Information Library** の上部にある **[Storage]** タブからダウンロードできます。

次のドキュメントを含む HP 3PAR StoreServ Storage のマニュアルは、HP サポートセンターからダウンロードすることもできます。

- 『HPE 3PAR StoreServ Storage Concepts Guide』
- 『HPE 3PAR StoreServ Storage Troubleshooting Guide』

## HPE VSA StoreVirtual のドキュメント

最新バージョンの HP VSA StoreVirtual Storage マニュアルは、**Enterprise Information Library** の **[Storage]** タブからダウンロードできます。

次のドキュメントを含む VSA StoreVirtual Storage のマニュアルは、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからダウンロードすることもできます。

- 『HPE StoreVirtual Storage ユーザーガイド』

## HPE ProLiant サーバーのドキュメント

- 『HPE Integrated Lights-Out QuickSpecs』には、サポート情報が掲載されています。次に示す QuickSpecs の Web サイトで入手できます。

**<http://www.hp.com/go/qs>**

- ProLiant サーバーのメモリ情報：
  - ProLiant BL BladeSystem サーバー：  
**<http://www.hpe.com/info/blades-ja>**
  - ProLiant DL、ML、および SL サーバー：  
**<http://www.hpe.com/info/rackservers>**

## カスタマーセルフリペア

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

CSR について詳しくは、お近くのサービスプロバイダーにお問い合わせになるか、次の CSR の Web サイトを参照してください。

**<http://www.hpe.com/support/selfrepair>**

## リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

デバイスサポートについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

**<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>**

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (**[docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)**)

へお寄せください。フィードバックの送信時には、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙にある改版日をご記載ください。オンラインヘルプの内容については、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、および法的な注意事項ページにある改版日をご記載ください。